

# おもしろ社会③⑦（歴史編）



## 明治時代（6）

問題 日本の不平等条約の撤廃について、問題文に間違いがあれば下線を引き、解答欄に正しく書きましょう。間違いがない場合は、解答欄に○を書きましょう。

	問題文	解答欄
①	岩倉具視使節団が、視察のため米国を訪問したとき、不平等条約改正に向けて交渉を試みたところ、米国に拒否された。	
②	不平等条約の改正については、井上馨 <sup>かおる</sup> や大隈重信ら歴代の大蔵大臣が試みたが失敗に終わった。	
③	ノルマントン号事件は、不平等条約の改正を求める機運がいっそう高まるきっかけとなった。	
④	外務大臣の陸奥宗光は、領事裁判権の撤廃に向けて、ロシアと交渉し、見事に成功した。	
⑤	日本が、西洋列強の国々との領事裁判権の撤廃に成功したのは、日露戦争に勝利したことが影響していた。	
⑥	1910年、総理大臣の陸奥宗光は、アメリカとの関税自主権の回復について交渉に成功した。	
⑦	日露戦争に勝利し、不平等条約の改正に成功した日本は、列強にならぶ存在として国際的に認められるようになった。	

# 解答



問題 日本の不平等条約の撤廃について、問題文に間違いがあれば下線を引き、解答欄に正しく書きましょう。間違いがない場合は、解答欄に○を書きましょう。

	問題文	解答欄
①	岩倉具視使節団が、視察のため米国を訪問したとき、不平等条約改正に向けて交渉を試みたところ、米国に拒否された。	○
②	不平等条約の改正については、井上馨 <sup>かおる</sup> や大隈重信ら歴代の大蔵大臣が試みたが失敗に終わった。	外務大臣
③	ノルマントン号事件は、不平等条約の改正を求める機運がいっそう高まるきっかけとなった。	○
④	外務大臣の陸奥宗光は、領事裁判権の撤廃に向けて、 <u>ロシア</u> と交渉し、見事に成功した。	イギリス
⑤	日本が、西洋列強の国々との領事裁判権の撤廃に成功したのは、 <u>日露戦争</u> に勝利したことが影響していた。	日清戦争
⑥	1910年、外務大臣の <u>陸奥宗光</u> は、アメリカとの関税自主権の回復について交渉に成功した。	小村寿太郎
⑦	日露戦争に勝利し、不平等条約の改正に成功した日本は、列強にならぶ存在として国際的に認められるようになった。	○